

郵便受箱は定期的にお手入れをする必要があります

未永くご愛用していただくためには、定期的なお手入れが必要です。特に工場地帯でススや鉄粉が付着しやすい場所や、鉄道沿線などの鉄粉が付着しやすい場所、海岸が近く潮風にさらされる場所、融雪剤をお使いの場所では、お手入れをおこたるとさびを誘発し、“腐食”や“もらいさび”を起こす場合があります。

お手入れ方法

- ・やわらかい布で、から拭きしてください。
- ・汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きして下さい。水分は完全に拭き取ってください。
- ・シンナー・ベンジン・みがき粉・タワシなどを使って清掃することは避けてください。変色・キズ・塗装ハクリ等の原因になります。



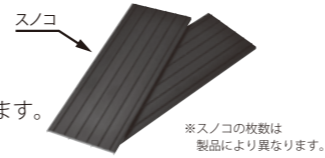
注意
お手入れの際は、安全のため必ずゴム手袋をお使いください。
この製品は板金部品を使用しているため、細部までお手入れされる場合は、手を切る恐れがあります。

防滴タイプについてのお願い

定期的スノコ下の確認と清掃をしてください。

防滴タイプですが、防水ではありませんので、雨量や風速、設置状況によりスノコ下に雨水が入る場合があります。定期的に郵便受箱内からスノコを取り出し、スノコ下をやわらかい布でから拭きしてください。

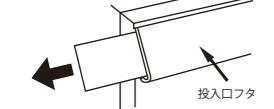
※雨水がたまると、郵便物が濡れる恐れがあります。



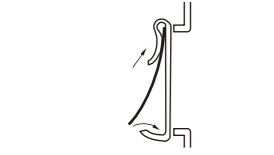
名札の取付・取外し方法

・投入口フタに名札が入っている場合

外し方
扉を開けて投入口フタの左側を少し引くと名札が引き出せます。



入れ方
投入口フタ裏側上部のすき間にさしこみ、下側をかえりの部分におさめて下さい。

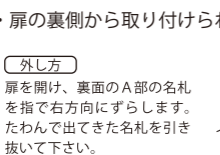


・ネームプレートがついている場合

外し方
扉の裏側から名札の中央を押し込んで、たわませながら左側を差し込みます。



入れ方
扉の正面から名札の右側を差し込んで、たわませながら左側を差し込みます。



・扉の裏側から取り付けられている場合

外し方
扉を開け、裏面のA部の名札を指で右方向にずらします。たわんで出てきた名札を引き抜いて下さい。



入れ方
名札の右側を差し込み、たわませながら左側も同様に差し込んで下さい。



アフターサービスについて

※郵便受箱生産中止後の交換部品の供給期間は10年間です。

●修理サービス

お買い求めの販売店または工事店にお申し付けください。

●アフターサービスについてご不明な場合

お買い求めの販売店または、下記支店・営業所までお問い合わせください。お問合せの際は、下記の内容をお知らせください。

お知らせいただきたい内容

- ①住所・氏名・電話番号
- ②品番・扉の色
- ③故障の内容や状況

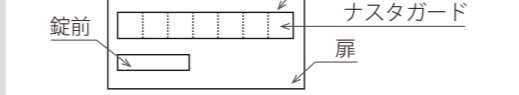
■品番の確認方法

品番は郵便受箱の内側の側面もしくは奥に貼ってあるシールに記載されています。「MB」から始まる数字が品番です。



■交換部品一覧

フラップ(投入口のフタ)
ナスタガード
扉
錠前



本製品の保証及び免責事項内容について

1. 保証期間

郵便受箱の箱体の剛性については、お買い上げ日より5年間とします。その他の部位については、お買い上げ日より2年間とします。

2. 保証内容

保証期間中に正常な使用状態において、万一製造上に起因する故障が生じた場合には当社にて無償で修理いたします。

本製品は通常郵便物の受箱を目的とし、現金、有価証券、重要書類、宝石、貴金属などの保管には適しません。いかなる配達物、内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失、損傷、汚染した場合、当社はその責任を負わないものとします。次のような場合は保証期間中でも有償修理となります。

- (1) 住宅のほか、事務所、老人ホーム、学校又は店舗用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 取扱説明書やカタログ、表示ラベル等に記載された使用方法及び注意事項や維持管理の不励行による不具合、損傷(例：扉や本体への荷重過多による破損や変形など)
- (3) 当社が定める施工説明書等に基づかない施工、当社が認めた者以外による移動・分解などに起因する不具合、損傷(例：工事中の養生不足による変色、腐蝕、傷など)

- (4) 建築躯体の変形など当該商品以外の不具合に起因する当該商品の不具合
 - (5) 商品又は部品の経年変化(消耗・摩耗、ネジやボルトの緩み)や経年劣化(樹脂部品や塗装等の退色やひび割れなど)、又はこれらに伴う不具合、消耗品の損傷、故障及び消耗品の交換
 - (6) 商品本来の性能を超えた環境下に設置された場合の不具合(例：耐風圧・積雪に対する強度、凍結や低温・高温環境による不具合など)
 - (7) 空気環境や雨水に含まれる成分に起因するもらい錆や腐蝕、塗料の剥離などの不具合(海岸地帯での潮風や塩分を含んだ雨水、融雪剤、温泉地帯で発生する各種ガス、自動車や給湯器、工場、ごみ焼却場などから出る煤塵、煤煙、亜硫酸ガス、鉄道・幹線道路沿いや工場周辺などの大気中に含まれる土砂、粉塵、金属粉等が付着して発生するもらい錆や腐蝕、塗料の剥離、樹脂部品等の変質やひび割れなど)
 - (8) 鼠、昆虫などの小動物の害、植物の蔭や蔓、及び根などの害による不具合、損傷
 - (9) 天災やその他の不可抗力(火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・台風・集中豪雨・津波等天変地異、または戦争・暴動等破壊行為)に起因する不具合、損傷、盗難、損害
- ※上記(7)に関する事項について
もらい錆や腐蝕など不具合の軽減につながるため、定期的なお手入れをお願いします。上記のお手入れ方法をご覧ください。

株式会社 ナスタ

本社 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング2F Tel: 03-6779-8775(代) Fax: 03-6779-8776
 東京支店 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング2F Tel: 03-6779-8772(代) Fax: 03-6779-8773
 大阪支店 Tel: 06-6858-5671(代) 仙台支店 Tel: 022-207-4700(代) 横浜支店 Tel: 045-474-0631(代) 広島支店 Tel: 082-249-4651(代) サイン課 Tel: 03-3660-1781(代)
 札幌支店 Tel: 011-741-2250(代) 北関東支店 Tel: 048-553-1751(代) 名古屋支店 Tel: 052-242-2272(代) 福岡支店 Tel: 092-472-1088(代)
 Web: www.nasta.co.jp/ Mail: info@nasta.co.jp

MB3002P-001-02_2018.02

NASTA

集合郵便受箱

取扱説明書

この度は、ナスタ郵便受箱をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、未永くご愛用ください。お読みになったあとは、紛失されませんよう保管してください。

号室のお客様へ

お客様がご使用になる開錠番号です。

開錠番号シールを郵便受箱から必ず外し、右の枠内に貼って保管して下さい。1枚は管理者様用です。

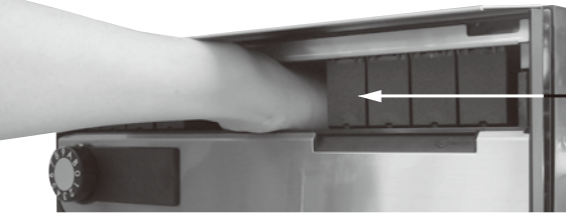
開錠番号シール

貼付場所

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる方やその他の方への危険や損害を未然に防止するため、説明を無視した使用方法によって生じる「ケガや物的損害の発生が想定される」内容を説明しています。

注意



意匠登録

nasta / nasta
ナスタガードとは、(上記いずれかのマークがついているものに)取り付けられています

扉に盗難配慮を施した[独自のフラップ構造]のことで

[ナスタガード]は製品破損防止の為、無理な力が加わると外れる恐れがありますのでご注意ください。郵便物を抜き取りにくくする構造の為、手を入れて無理矢理引き抜くとケガをする恐れがあります。

●郵便物取り出しの際、郵便物のサイズによって扉を製品設定の全開角度にしないと取り出せない場合があります。必ず、扉の開き角度を全開にして取り出してください。

●扉を正しく開けてください。

投入口に手をかけたまま扉を開ける等、無理に開けると、扉や投入口フタが変形します。必ず錠前を持って開けてください。



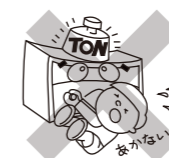
●投入口フタが開いた状態で扉を開けないでください。

郵便物が投入口にはさまった状態等、投入口フタが開いた状態で無理に開けると、扉や投入口フタが変形します。



●郵便受箱の上に物を載せないでください。

箱の上に重量物を載せると、箱が変形して扉の開閉動作ができないことがあります。



●扉は開け放しにしないでください。

扉を開けたままにすると、歩行者が扉に当たって危険です。郵便物を取り出した後は必ず扉を閉めて施錠してください。



●扉を無理に開けないでください。

扉を勢いよく開ける等、無理に開けると変形したり、鍵がかからなくなる恐れがあります。



●扉を閉めるときは静かに閉めてください。

●あまり強く乱暴に閉めると、音が隣家に響き迷惑になります。また、鍵の故障の原因にもなります。
●雨天時や、雨上がり直後に扉を素早く開閉しますと、内部に伝わり郵便物が濡れる原因になります。



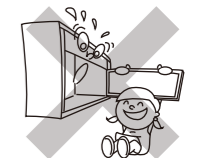
●多量の郵便物は一度に取り出さないでください。

多量の郵便物を両手で一度に取り出そうとすると無理な力が手や扉にかかって、思わぬケガをしたり、故障の原因になります。



●扉にぶらさがらないでください。

扉にぶらさがったり、投入口に手を入れたりしますと、思わぬケガをしたり、破損の原因になります。



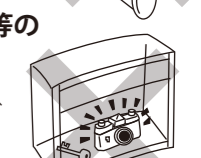
●すみやかに郵便物を取り出して下さい。

●郵便物がたまり、つめこみすぎると鍵が開かなくなったり、破損や作動異常の原因となります。
●強風雨や諸条件によって郵便物が濡れることがあります。お早めに取り出して下さい。



●貴重品・重要書類・危険物・生物等の保管はしないでください。

一般郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品類の受取りや保管には適していません。お部屋の鍵も入れないでください。意図的な盗難やイタズラに対応できません。



錠前の使用方法

ダイヤル錠タイプ

はじめに、表紙に貼ってあります

開錠番号シールの色 をご確認ください。

開錠番号シールの色が…
赤 の場合はこちらを参照ください。

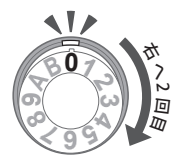
郵便受箱開錠番号
右へ2回 0
左へ1回 B

手順1



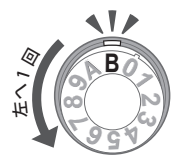
ダイヤルを**右**に回して、1回目の**0**を合わせます。

手順2



もう一度、ダイヤルを**右**に回して、2回目の**0**を合わせます。

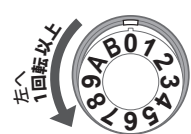
手順3



ダイヤルを**左**に回して、**B**に合わせると開錠します。

施錠方法

手順4 施錠



ダイヤルを**左**に**1回転以上**、回すと施錠します。

最後に回した方向と同じ方向に回すのがポイント!!

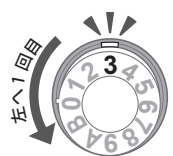


開錠する時は、このポイントに数字を合わせます。

開錠番号シールの色が…
青 の場合はこちらを参照ください。

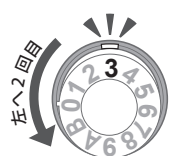
郵便受箱開錠番号
左へ2回 3
右へ1回 4

手順1



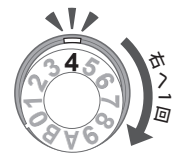
ダイヤルを**左**に回して、1回目の**3**を合わせます。

手順2



もう一度、ダイヤルを**左**に回して、2回目の**3**を合わせます。

手順3



ダイヤルを**右**に回して、**4**に合わせると開錠します。

手順4 施錠



ダイヤルを**右**に**1回転以上**、回すと施錠します。

最後に回した方向と同じ方向に回すのがポイント!!

⚠️ 上記の施錠方法を行わないと、[手順3]だけで開錠する場合があります。施錠の場合は必ず、上記に従ってダイヤルを1回転以上回してください。

⚠️ 番号の位置によって、最初の番号は1回合わせるだけで開錠する場合があります。(最初の番号は2回以上合わせても問題ありません。)

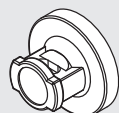
シリンダー錠

・鍵は施錠時のみ抜き差しできます。



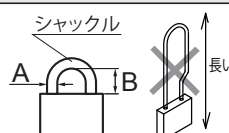
ラッチ錠

・この錠前だけでは施錠はできません。市販の南京錠をご使用ください。



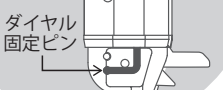
適応南京錠

A寸法	3.5~ 4.5mm
B寸法	10.5~18.0mm



⚠️ **注意** シャックルの長いものや異形のものを使用しないでください。

錠前の後ろに「ダイヤル固定ピン」があるタイプのみロックフリー設定ができます。



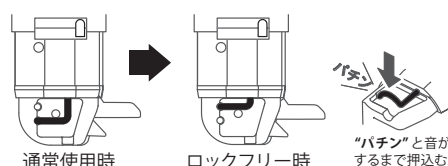
1

開錠して扉を開き、ペンなどの先の細いものでダイヤル固定ピンを起こします。



2

ピンの戻す位置を下図のように変更するとダイヤルが固定されます。



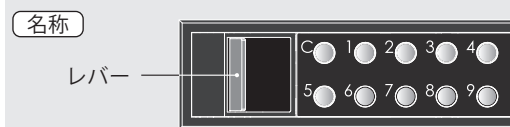
ロックフリーの設定

開錠操作をしなくても、常に扉を開けることができます。

⚠️ **注意**

- セキュリティ性が損なわれますので、十分ご配慮の上、ロックフリー機能をご利用ください。
- ダイヤル錠タイプはロックフリー時に無理にダイヤルを回すと破損しますのでご注意ください。

プッシュボタン錠タイプ

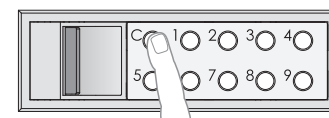


はじめに、表紙に貼ってあります

開錠番号シール をご確認ください。

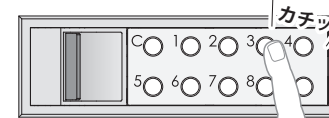
C123

手順1



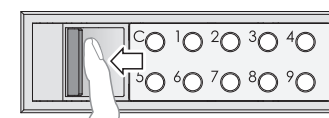
Cボタンを押し、クリア状態にします。

手順2



表紙に貼ってあります、開錠番号シールの番号(順不同)を押します。
<例1>の場合。「1・2・3」「2・1・3」「3・1・2」どの順番で押しても開錠できます。

手順3



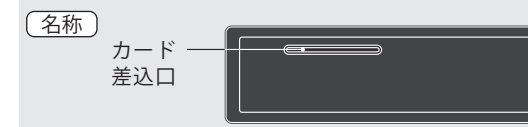
レバーを押した状態で、手前に引くと扉が開きます。

※番号を押し間違えた場合は、手順1からやり直してください。

手順4 施錠

扉を閉めると自動ロックされます。

カードキータイプ



初期状態のカードキーは全て共通になっています。必ず管理会社・オーナー様にご確認の上、新規カードキーをご購入ください。

開錠・施錠方法

手順1 開錠

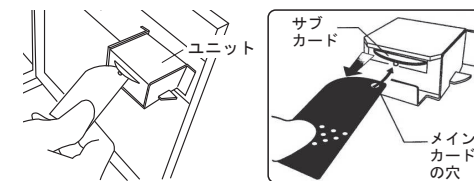
メインカードをカード差込口に差込み、押し込んでください。

手順2 施錠

メインカードを抜いてからポストの扉を閉めてください。

カードキーの交換は、サブカードを入替えることにより行えます。カードキーはサブカード1枚とメインカード1枚で1セットです。※サブカードを入替えると、セットのメインカードでしか開錠できません。

交換方法



手順1

扉を開きサブカードをメインカードの穴を利用して引き抜きます。新規のサブカードに入替えます。

※内蔵サブカードは構造上小さくできています。手応えがあるまで押し込み、しっかりと最後(深く)まで挿入してください。

手順2

扉を開いたまま、メインカードを表側から差込みユニットが作動するか必ず確認してください。

※内蔵サブカードを入れていない状態、もしくは正しくセットされていない状態で、絶対に扉を閉めないでください。通常の開錠ができなくなります。

●カードキーに関するお問い合わせ———シャロック株式会社(●STARTS GROUP)

・カードキーの複製、新規ご購入はシャロック株式会社へお問い合わせください。

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-1-8(スタート日本橋ビル5階) TEL (03)6202-1151 FAX (03)3273-0038

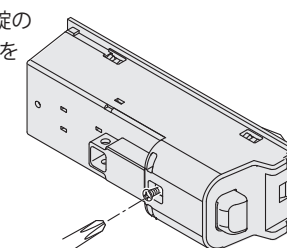
・カードキーのトラブルはシャロックトラブルバスター受付センターへお問い合わせください。

シャロックトラブルバスター受付センター TEL 0120-49-4869 (24時間・年中無休)

カードキー以外に関するお問い合わせは、裏面の「アフターサービスについて」をご覧ください。

1

プッシュボタン錠の裏側にあるねじを取り外します。



2

取り外したねじはなくさないために、右図のように錠前の裏側にねじ止めてください。

